

文化会館管理業務民間委託実施計画（素案）市民意見交換会 主な意見、質問、回答 〈広神会場〉

平成 27 年 3 月 13 日（金）19:00～

広神コミュニティセンター講堂 参加者 5 人、記者 1 人、事務局 6 人

質問 ホームページ上に公表していたのは 3 月 4 日頃だったので、それから見た。一般財団法人が出来るといふことでことが進んでいるようだが、心配しているのは、その途中の一般財団法人がどのようにして出来るのか、前回の計画書で新潟や長岡、南魚沼市にあるがどのような形で、どのような関わり方をして財団法人が出来たのか教えていただけないかという意見が出たと思うのですが、今回そういった説明がなかったので調べてきましたら、長岡の場合は、理事長が市長で出損が多分 1 億円、リリックホールと長岡市立劇場を財団法人が管理し、長岡市が文化については、市が責任を持ち管理運営しているような感じで見受けられ、南魚沼の関係から言うと、スポーツ、文化という部分で、いろいろな施設や市民会館があるが、その財団法人の作り方として市がどれだけ関わられるかが問題であって、これを見ると市は、委託したいような文章から見えるが、長岡方式なのか南魚沼方式なのか教えて欲しい。市民が主体といいながら、受け渡しの部分が心配である。

館長が不在という心配であって、次の人事からいうと土木関係の人が課長になるので、その辺の対外的な問題が心配である。この予算が減っている中で、人材を集めてこの給料で、このスケジュールのとおり行けば問題はないのですが、みんなが心配している部分である。計画事態があってもその途中の部分が分かりやすく、財団法人が設立される、こういう部分に市としてのからめ方等について解る部分で解るようにしてほしい。

広報の失敗の部分も含め、出来たけれどもどのような出来たかわからない。民間委託になると経費が係らないからいいと逆に考えている人も多く見受けられる。長岡方式なのか、南魚沼方式なのか解ると、財団法人のイメージが分かりやすい。

回答 長岡、南魚沼の例を挙げていただきありがとうございました。新潟のりゅーとぴあは財団が受けて、自前でやっていますが、規模が違いお手本にするわけにはいきません。

長岡の場合は、市がものすごく関与していると伺いました。うちの文化会館の場合には、広域事務組合で設立する中で係わろうとしましたが、行政に係わる会館はいい形にはならないということで、魚沼の文化を育む会等の住民の皆様が、立上って運営をサポートしてきた経緯がありますので、長岡方式のように魚沼市が直接手を下して財団を立ち上げるというのは、違うのかと思います。

南魚沼の財団の場合は、スポーツ施設を含め管理していますが、管理費を捻出のための財団自主事業もほとんどなく、有名アーティストのコンサート開催は、貸館事業です。

どういう形かと問われますと魚沼方式というふうにお答えするしかないのかなと思います。

これまで会館を支えていただいた皆様、これから会館を使っていただける、愛していただける皆様から財団のコアになっていただく形かなと思います。その際にスケジュールの中にもありましたように、市といたしましても約款を作る、あるいは出損金の関係ですとか、できるだけサポートをしていく形になると思います。今のお話の中では、今現在、財団を設立する目というものがございませんので、6カ所の説明会をする中で、そのような目を醸成して行ければと考えています。

初代館長は、会館を支えていた住民の皆様から推薦を受けて館長に就任し、18年勤められました。次の任命は、行政だけで決められないところですので、住民の皆様の意見を踏まえ、新年度に館長が決められるよう進めて行きます。

財政について、行政改革で会館の正職員の数を減らして、非常勤職員で技術補助をおこなっていますが、非常勤職員の任用が1年単位であるため、身分が不安定であり、給与アップもなく、この状況を解決するために財団で雇用していただき、身分を保証できるよう協議いたします。

質問 民間委託になるとお金がかからないからいい、という住民の声も聞かれるが、一般財団法人のイメージを教えてください。

回答 実施計画の内容については、盛りだくさんですが、今までの会館活動実績を含めて市民の期待もありますので、基本計画のコンセプトを引き継いだ形で要望していきます。

質問 財団への実施計画を見ると組織については、業務基準に掲載されているが、内容を実施するための必要な職員の人数は、何人なのか。

回答 職員必要人数については、新しい財団と協議して、必要職員人数を相談していきます。業務の兼任もありえます。現在の職員人数程度を参考に考えて、業務内容や担当の状況も伝えていきます。

専門の人材を最初から揃えるのは、ハードルが高すぎるので、確保するように努めるとともに育成の要望はしますが、初年度は経験職員を雇用してもらい未経験者は、スキルを身につけてもらいます。また意向により正職員の数年間の出向も念頭にきます。なお、新たに必要な人材の確保は、財団と魚沼市が協議をして進めます。

質問 組織に関する業務で、財団の職員になっても身分が保障されるものではないし、指定管理

は10年となっているので、経験を積んでも10年で終わり、終身雇用ではない。財団でいいのは、行政の枠組みでの予算執行や単年度事業でなくてもよいことで、また専門職員が確保できる。

仕様書に盛り込んだ内容が膨大すぎて、計画で行くと無謀な話。減免使用料は無料ではなく、使用した分を魚沼市等が負担しないと、財団の収入源もない。南魚沼市は学校が無料使用した場合は市が払っている。

また設立までのタイムスケジュールと会館施設の平成28年4月からの予約について、指定管理移行が来年4月であるが、会館業務を行いながら準備を進める事になると思うけど、このスケジュールで間に合うのか。会館の予約は、一年前からなので今年の4月1日からの施設予約は、どう対応するのか。

回答 委託期間は、10年で問題がなければ、引き続き更新になります。

減免について、特定団体の長期使用についての使用料減免経費などは、今後どうすべきかを考えていきます。学校使用分は魚沼市で補填しなければならないと思いますが、年間500万円の収入のほかに、2,000万円減免しているがこのまま減免でいいのかについては、検討していきます。

財団については、市民中心の財団が立ち上がらなければ、次の策を考えて行きます。堀之内会場での意見のように、たとえば市民が一口株主で関わっての財団立ち上げの方法もあります。

また遠方の市民へのアクセス問題の改善策や希望開催事業などの意見もお聞きしたいと思います。

質問 今回の広神会場の参加者が少ない理由は何か。折り込まれたチラシでは、何がなんだか分からないと思う。市のホームページ、文化会館のフェイスブックなどにも意見交換会の情報が掲載されていないのではないかと、また人が集まらないのは、PR不足ではないか。

回答 文化協会の代議員や友の会、サポーターズクラブなど関係団体には、案内のDMを出していますが、参加を強制しているわけではありません。結果的に参加が少ないのは、検討しなければならないと思います。

意見 魚沼市役所や公民館等に、案内を置いて紹介したり、会議に来れなくても意見ができる方法、意見箱など設置を考えてほしい。みんながホームページをみているわけではない。本気で、できるだけ多くの人に知らせ、意見を求めるのであれば、方法を考えてほしい。企画運営委員などに広報協力を求めていると思う。

回答 意見箱について考える。人海戦術も考える。

意見 広報は、市のホームページのトップページにアップして、見やすくしたほうがいい。ホームページの更新が遅い。特定の人しか、参加できる仕組みにしかになっていないのは残念。

文化会館利用は、会館のカレンダーをみると、保育園や学校など貸館事業が多く、一般入場可能な行事が少ない。公民館形式になっているのではないか。インターネットで見られる環境の人には、情報や動きが伝わるが、インターネット以外の広報がされていないので、会館の活動が市民に伝わっていない。

回答 広報について今回の案内は、時間の関係で市報の折込しか方法がなかった。現在の広報手段は、市報、ホームページ、宣伝カーしかなく、手段が乏しい。今年の4月1日から市のホームページがリニューアルするが、すべての市民が見られるわけではない。FM放送が開局すれば、受信機配付も予定されているので、これからのピPRツールになるのではと思われます。

意見 館長は、退職した行政職員で、館長候補がないのか。社協などは退職した市職員が雇用されている人が多くいますが、市の退職者等で館長を決めて、一般財団への道筋をつけないといけなくはないかと感じている。

回答 退職者の活用について最初の会館立ち上げ時は、民間からの館長でしたが、行政職員のOBが館長でいいのか。皆さんの意見をお聞きしたい部分です。

意見 館長について会館開館時には、ゼロからの立ち上げなので前の館長は、次を育てずに辞めていった。今は、出来上がったところへの館長就任になるので大変だと思う。10年前に館長の下に副館長をつけて、次を育てていけばこんなことにならなかったが、未経験者が館長になるなら、2~3人経験者をつけなければ、回っていかないと思う。

南魚沼市は名義館長だが、魚沼市の今まで館長は、補助金を獲得し企画にも関わっていた。同等の業績条件の館長を望むなら、専門的な経験者を2~3人をつけなければ、回っていかないと。りゅーとぴあは、専門経験のない館長が就任し、複数年で交代している。今の文化会館では、館長に何をしてもらった方がいいのか、役割を考えたほうが良い。

意見 文化会館は団体として利用しているし、いいなと思っている。文化協会15周年記念事業であった「うおぬま大芸能まつり」や「宮里静輝絵画展」、「シンポジウム」などは、全員が参加できるイベントで良かった。会館の自主事業はもっとやってほしい。

意見 文化会館を批判している人が今日来ていない。それだけ関心がない状況なのか。今こそ、市民が本気になって考えていく非常に良い機会である。

回答 別件ですが、新庁舎市民意見交換会の時も集まりが少なく、市内6会場になるべく大勢の人から参加してもらいたいのですが、今回の広報周知が不足していたのは、反省しています。第1回目の堀之内会場での意見交換会について、新潟日報で記事にしてもらいました。残りの会場には、多くの方から参加してもらいたいと思います。

意見 囑託員会議では、市民意見交換会の案内は周知していないのでは。区長が来ていないのが残念。

意見 今まで館長を批判をした人が来ていない。批判のための批判する人間はいらなくなった。

回答 一昨年、実施した文化会館に関する市民アンケートでは、文化会館に来たことがある人が80%の回答がありました。それに比べ文化会館に携わった人は、30%強にとどまっています。80%の内訳は、JA農業祭や雪合戦、物販などがほとんどだと思います。

また近年、文化会館のコンサートや演劇公演への入場者数が少なくなり、会館までのアクセスの問題や市民の皆様の経済状況などによるものかと思われますが、どうすれば会館に足を向けてくれるのか、検討することが必要となっています。

ただし、無料の自衛隊コンサートは毎回大盛況でした。

平成26年度で大ホール満員の事業は、自衛隊コンサート、中島誠之助講演会、渡辺謙さん参加の市制10周年記念事業、海援隊の教職員互助会無料コンサートなどです。文化会館でも、クラシックを気軽に楽しんでもらうために「四月は君の嘘クラシックコンサート」やアナと雪の女王で話題の「May J. コンサート」がありますので、ぜひ見に来てください。また見てみたいものがあったら教えてください。

意見 かつて長岡市が無料券をばらまき、チケットを購入しなくなる癖がついてしまったという失敗例があります。

質問 渡辺謙さんの時はどうでしたか。

回答 渡辺謙さんから来ていただいた市制10年事業の2階席、一般開放入場整理券は、市民センターで配付しましたが、すぐなくなりました。また自衛隊コンサートの入場整理券もすぐなくなりました。

意見 テレビに出る人は、認知度があるので強い。みんなが知っているなので、動員力がある。

回答 知名度が有る人は、市民の関心は高いが、ギャラが高くて呼べません。これからの事業では、未就学児のひざ上抱っこ、無料で入場可能などの新しい試みをしています。

また会館で事業をしたい団体などの利用者の確保をしていきたいと思います。

意見 コンサートなどで生声は、聞きやすいのにマイクで話す時々聞きにくい事があるのは、なぜか。リハーサル等で確認してほしい。

回答 どのイベントで発生したか解りませんが、確認をしたいと思います。

意見 無償サポーターを上手に依頼してはどうか。かなりの市民が何らかの形で協力したいと思っている、そのような人の協力をうまく利用すると間接的に協力の体制が出来てくる。

株券というかそのようなものをできるだけ少額にして、運営する人は10万円単位の中で、1万円券を出す、1万円券の方が10人寄って、初めて発言権があるような形にするとうまくいくのではないか。

少ない金額で多くの出資者を募ってはどうか。

回答 市民がたくさん係われるアイデアとして模索していきたいと思います。

意見 財団法人を立ち上げるのはいいが、ベースを市がどのようにサポートするのが1番問題になっていると思う。

副委員長 意見交換会実施について、堀之内会場が11人、広神会場が5人。広報周知がまだまだ足りないのか、関心度が少ないのか。今までの経過や流れを参加者に詳しく説明して、段取りよくすべき。

基本計画は、昨年度意見交換会で説明し、今年度は実施計画を説明することになっている。

民間委託に関することは、区長方も入っているが、2年間市民・行政協働検討会議で特化して検討を進めてきた。実施計画（素案）ができたばかりで、説明会が時期尚早ではあったが、市のスケジュールということで年度末に実施することになった。

資料No6実施計画（素案）のダイジェストにも評価基準で評価協議機関の設置を設けているので、企画運営委員会などが専門機関的立場で、指定管理者の活動をお目付け役機関で監視していく。

インセンティブ契約は、管理委託者が儲けた収益または、獲得した補助金は、自分達で

使用してよいとの新しい試みなど、ポイントを残りの会場でも説明していきます。

館長については、市民課長が兼務のままの1年間は、大変だったと思うし対外的、対内的にも館長不在は良くない。館長職にある限り、総合的なことをこなしていく人でないと大変ではないかと思うが、財団になる時が、チャンスです。

財団について、財団法人、NPO法人、株式会社とかあるが文化会館は、財団法人が望ましいとの一定の結論は出ています。まだまだ検討事項は多いが、住民参加型のホールで行う事は、曲げないようにしようというのが、企画運営委員会の総意であるので、皆様からも意見をどんどん寄せてほしいところです。

委員長 堀之内会場では、とってもいい事を言っていたのだが、本日の会場もつつこんだ意見を聞かせていただいたし、良い話を聞かせていただきました。

財団になるのは簡単ではないということは承知していますので皆様方には、これからも関心を持ち続けていただいて、関わっていただきたいとお願いします。

6会場の意見をフィードバックして、その先に良い財団ができるように努力していきたい。これからも皆様から関心を持って行っていただきますようお願いいたします。